



おぐま通信



広島県議会議員 **尾熊良一** 発行

公式ホームページ
<https://r-oguma.jp/>
 E-mail:oguma@polka.ocn.ne.jp

LINE 公式アカウント



尾熊良一ライン公式
 アカウントの登録を
 お願いします

連絡先

公明党広島県議会議員団

〒730-8509 広島市中区基町10-52

おぐま良一事務所

〒721-0975 福山市西深津町4丁目2-45

カーサグレース101号

TEL:084-983-1862 FAX:084-983-1863

県政に皆さまの声を届けます。
 ご意見・御要望をお待ちして
 おります。

No.12

2021 新春号

しあわせ

新しい年を迎え、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より暖かいご支援を賜り心より御礼申し上げます。昨年是一年間、新型コロナウイルスが世界各地に拡大し、日本でも多くの方が健康や命を脅かされ、個人の生活様式や企業活動を一変させて経済は大きなダメージを受けました。今年はワクチンの有効性や安全性を確保された上で、国民への接種も始まり、その効果が期待されるところです。国と地方自治体が力を合わせてコロナ感染拡大の収束に全力で取り組み、その後のウィズコロナ時代、その先のアフターコロナ時代に向け「新しい生活様式」の中で、感染拡大防止と経済活動の両立を目指し、地域のために私も皆さまと共に頑張っております。

広島県議会議員 尾熊良一

広島県議会12月定例会（本会議）で一般質問行う（2020年12月10日）



質問

50ヶ国の地域の批准条件を満たし、本年1月22日に核兵器廃止から使用を一切禁止する核兵器禁止条約が発効する事に対し、世界の核兵器保有国や日本政府に対する核兵器廃絶に向けた行動を促す為にどう取組むのか

答弁

（知事）核兵器保有国やその核の傘の下にある日本などの国に対して、条約の署名・批准や条約発効後に開催される締約国会議へのオブザーバー参加を粘り強く働きかけていく。また締約国会議開催に向けて県として人類史上最初の被爆地としてどのような事ができるか検討していく。

質問

年末年始に向けた医療体制を始めとしたコロナ感染拡大防止対策をどのように行い、県民に対し注意喚起をどう強化するのか

答弁

（健康福祉局長）医師会の協力も得て休日当番医の身近な医療機関での検査体制を確保し「積極ガードダイヤル」を通じて案内する。県民には感染状況や感染防止対策を様々な広報媒体を通し、県民に効果的な周知・啓発を図る。

質問

コロナ禍の長期化で経営や事業継続が厳しい企業に対しどのような経済対策で支援を行おうとするのか

答弁

（知事）感染拡大防止と社会経済活動を両立する為に、国市町と連携して、中小企業の事業継続と雇用維持の短期支援、相談支援体制強化、実質無利子無担保融資制度の迅速な資金繰り支援、企業の事業形態転換の後押しする経営コンサル派遣、企業のデジタルサービス創出支援や製造業のAI導入やロボット化による生産性向上の設備投資支援など着実に進める。

その他の質問

- コロナ禍での雇用対策強化について
- 新卒者の就職氷河期の再来を防ぐ対応について
- 環境問題における温室効果ガス削減の取組について
- 防災・減災の取組
- ・芦田川の流域治水の取組について
- ・中小河川の治水リスクの対応
- ・水害から施設の高齢者を守る取組について

12月定例議会にて補正予算可決 コロナ感染防止緊急対策

新型コロナウィルス感染症緊急対応

介護施設等における感染拡大防止（施設職員の定期的抗原検査）・・・216百万円
 医療提供体制の確保（病床の確保、医療機関への経費補助）・・・9,359百万円
 事業者支援（資金繰りの利子補給支援、若年者就職支援、合同企業面接会支援）・・・49百万円
 個人向け緊急小口資金等特例貸付、住宅高齢者見守り支援強化・・・271百万円
 教育機関支援（修学旅行キャンセル料保護者負担軽減の支援）・・・61百万円
 企業の外部人材採用でプロフェッショナル人材採用支援・観光客誘客促進支援・・・558百万円

約
105
億円

追加分

広島市内中心部飲食店における感染予防対策経費補助・・・7,668百万円
 飲食店の営業時間短縮や休業協力支援金・・・8億円

議員活動報告

2020年4月臨時議会本会議質問(新型コロナウイルス対策臨時議会)

【コロナ治療に携わる医療従事者に対する支援を問う】

(健康福祉局長) コロナ感染症の治療に携わる医療従事者に特殊勤務手当を支給した医療機関に補助をする事とし、実施体制を早急に整備していく。



【路線維持や事業公共交通バス事業者への財政支援を問う】

(地域政策局長) コロナ感染拡大防止で移動自粛から路線バス利用者が大きく減少している。運転手の感染防止支援行う。また既存の補助制度活用した対応検討と国に対してもバス事業者支援制度拡充を強く働き掛ける。



➡ 9月補正予算で医療従事者支援として13億円の慰労金給付予算が可決

➡ 9月補正予算で公共交通事業者(バス・タクシーなど)に対する運行継続に向け約38億円予算が可決

政策要望懇談会で各種団体よりご要望を伺う(2020年11月・12月)

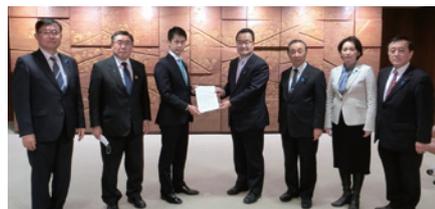
県バス協会や県医師会など40団体から国・県・市に対する要望を伺う。斉藤鉄夫・榎屋敬悟衆議院議員、山本博司参議員議員・厚労副大臣、広島県議会、広島市議会の各議員が出席。コロナ禍での企業への経済・雇用支援や医療従事者への支援、国県市のネットワークで実現に向けて全力で取組みます。



令和3年度予算要望を行う(2020年2月)

【主な要望項目】

1. 新型コロナウイルス感染症対策の推進
2. 「防災・減災・復興」施策の充実
3. デジタル社会の推進
4. 子どもの未来を応援する施策の充実
5. 旧広島陸軍被服支廠の保存・活用の推進



皆さまの声が実現しました

防災「ひろしまマイ・タイムライン」普及促進

県民の防災意識の醸成につなげる「ひろしまマイ・タイムライン」冊子版を教材として県内全小学校や自主防災組織に配布。防災教育で普及促進。



防災「呼びかけ体制づくり」の体制構築支援

災害時の早期避難行動に向けた「呼びかけ体制づくりマニュアル」を県内の全自主防災組織に配布。地域の呼びかけ体制構築に向けた県の支援が進む。



急傾斜地の地すべり災害場所の対策工事実施(松永町)

土砂災害警戒区域の地すべり災害で対策工事を実施。



港湾管理歩道の安全対策(金江町)

歩道の安全対策でグレーチング設置。



通学路や交差点の安全対策実現

路面標示・ポール設置
通学路(西深津町)



路面標示強調
交差点(曙町)



高輝度信号増設
交差点(蔵王町)



2018年7月豪雨災害で河川護岸の修復完了(沼隈町)

豪雨災害で本谷川の護岸が数カ所に渡り崩落。全カ所修復実現し完了。

